

# ワラとくらし

昭和62年10月17日(土)～12月6日(日)



稲刈り(県農業試験場提供)



くいかげ(県農業試験場提供)



稲こきから俵づめまで(県農業試験場提供)



ヒエのつまった俵(150年前のもの)



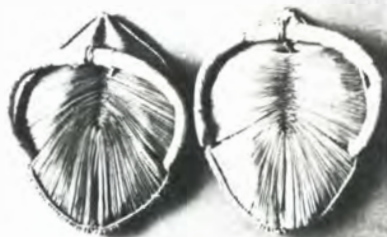
かかし(上山市・久保川実行組合蔵)



ヤサラ(病送り人形)送り(遊佐町教育委員会提供)



アマミノを着た婦人(尾花沢市)



オメフト



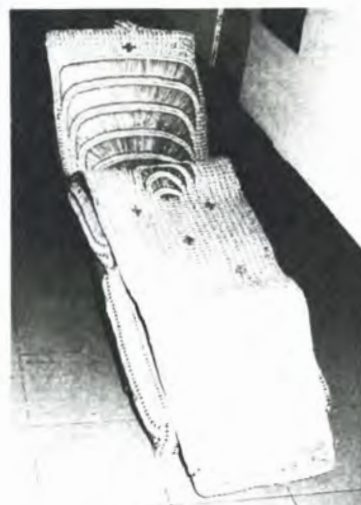
ワラジの奉納(羽黒町・正善院黄金堂)



シナカワを煮る婦人(温海町)



ワ(真室川町)



寝台セット(ベリアン女史製作)



机と椅子(ベリアン女史製作)

実演会「ムシロを織る」

11月3日(火)(午前11時より) 文化の日 講師/伊藤久七・まつ糸氏

## 山形県立博物館

○ワラを薦る

- ナタギリ (ウマズラ・ニゾ)
ミゴやクグなどを麻糸で編み、後ろに木綿2枚合せのしころをつけたもの。男性がかぶった。女性用のものとして、ゴザナタギリがある。
• ミノボウスン
主にクグで作った。雨天時や雪降りの時など、子供達などが通学用に使用した。
• 着ゴザ (ゴザミノ)
畳表用の二番手のイグサで作った。天気の良い日は日よけ、雨天時は雨よけに。不用の時は巻いておき、休む時は敷物にした。
• オソフキワラジ (ノメゾウ)
ワラジにワラで編んだツマをつけたもの。
• ズンベ
草履にツマをつけたもの。
• オメプト
天皇がご即位の後、先帝の廟所に参られる時に履いたものという。元禄年間、山形の旧家に京の大僧正によって伝えられた。これを履くと、足が丈夫になるとのいい伝えがある。

○食物とワラ

- ツトコ
納豆は正月用と田植用に作った。豆を煮、ワラで作った苞子(ツトコ)に2合位入れ2本のワラで結んだ。何本ものツトコを束ね、温度が下がらない様に、ワラのクタダ(葉の部分)に包み、さらにムシロで包んだ。昔は、苗を束ねるワラは納豆ワラを使った。納豆ワラを用いると、稲に虫がつかないといわれていた。

○ワラと住い

- イズコ (イズメ)
ワラを柔らかく打って編んだ幼児の育児器。中には、小便が通る様に灰やワラなどを入れ、厚着にして体を固定した。
• ネコ
補植用の苗を使用する。根の方を上にし、茎葉をミツグりに長く編んでから、糸でからんだ。エンザと共に敷物として用いられた。
• ペリアン女史製作作品
寝台セット(折りたたみ寝台・クッション・敷物) 机と椅子
昭和15年、商工省貿易局が招へいた、フランス人シャルロット・ペリアン女史は、商工省嘱託員として活躍した。女史は新庄にある農林省積雪地方農村経済調査所支所にも来所し、手工芸等の指導を行っている。寝台セットの内、寝台数は庄内地方の「バンドリ」の意匠化という。

○ワラの生産用具

- タラバシ
元日、2日、3日の3日間に、1年に収穫する米を入れる俵の数のタラバシを、「三ヶ日のお祝い仕事」として作る風習だった。
—山形市谷柏—
• ニナワ
正月11日のかせぎ初めに、荷縄をなつた。普通1人3本で、全長は二尋半(約3.8m)位だった。縄の半分近くはワラで、先の半分はミゴでミツグりに編んだ。
—山形市谷柏—
• ワ (マル)
小動物狩りに用いたもので、主に野兎やキジ・

ヤマドリなどを捕える時に用いた。柴等を丸く曲げ縄をまき、内側を十字に結び、タカの羽根四枚をつけている。

- ニセミノ
村山地方にみられる荷物背負いミノで、ワラや樹皮などに布切れを入れて編む。名称は荷物背負いミノがまつたものと考えられる。
• バンドリ
庄内地方にみられる荷物背負いミノである。材料はニセミノなどと同じだが、形がムササビに似る所から、方言であるバンドリと呼ばれたといわれる。

○信仰とワラ

- ケンダン
遊佐町方面に広くみられた大きな注連飾りで、門口に下げた。根元の上っているものをノボリケンダン、下っているものをクダリケンダンと呼ぶ。
• ヤサラ
遊佐町平津に伝わる病送り人形である。4月4日(現在は近くの日曜日)、地区の皇大神社で行事が行われ、後、若連中が村はずれまで練り歩き、火をつけて悪病と共に流してやる。

○ワラと玩具

- トコトコ人形
稲ワラのミゴと節ワラを用い、節ワラを胴体にし、中にさし込んだミゴをひくと両手が上下に動く。
• イナシカブ人形
根が長い稲の株で髪を結び、切株を胴体にして着物をきせたものである。

展 示 資 料 一 覧

(SN: 新庄 農林省積雪地方農村経済調査所収集品)

Table with 4 columns: No, 資料名, 点数, 収集地等. It lists various items related to straw (ワラ) such as 'ワラを薦る', 'ワラと住い', 'ワラの生産用具', 'ワラと玩具', and '食物とワラ'.